

県立児玉高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	普通科 生物資源科・環境デザイン科 機械科・電子機械科		R5.5.1 生徒数	(男) 304 (女) 190	計	494	
アクセス	JR 高崎線・本庄駅から朝日バス20分 児玉高校バス停下車 徒歩1分								
<目指す学校像>									
まちの創生を担い、未来の地域産業を支え、学ぶ意欲と社会性を身に付けた心豊かな人材を育てる学校									
<教育課程等> ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内唯一の普通科・農業科・工業科の併設校。 ○ 普通科1年次には「ものづくり基礎」という教科を設定し、農業・工業の実習体験から「なすことによって学ぶ」という校訓を身をもって体験し、自身の進路選択の糧とする。 ○ 普通科2年次からは「地域創造系」「スポーツ健康科学系」の類型選択。 ○ 大学科農業は「生物資源科」「環境デザイン科」、大学科工業は「機械科」「電子機械科」を設置。 ○ 探究活動として「こだま学」を位置づけ、地域と協働しながらその成り立ちや関係性を学び、生徒自身の成長と地元の活性化を目指す。 									
<本校が求める生徒> ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> ○ 就職・進学を念頭に、ルールやマナーを守る規範意識が高い生徒。 ○ 思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を過ごせる生徒。 									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポプラ祭（文化祭）」では農業科による農産物や工業科による金属加工品の即売、体験を楽しめます。 ○ 縦割り団対抗の体育祭。生徒たちは熱戦を繰り広げます。 ○ 関西方面の修学旅行。 									
<部活動>									
<ul style="list-style-type: none"> ○ 10の運動部、8つの文化部があります。 ○ サッカー部、柔道部、バスケットボール部、陸上部など、多くの運動部で関東大会・全国大会上位の経歴があります。 ○ 柔道部はオリンピック金メダリストも輩出しています。 ○ 機械研究部はHONDA エコマイレージ全国大会上位経歴、書道部は書の甲子園優秀賞受賞経歴があります。 ○ 学校農業クラブという農業高校ならではの全国組織のクラブもあります。農業鑑定競技全国大会での上位経歴あり。 									
<家庭・地域との連携>									
学科の特色を生かした地域交流事業（イベント参加）や「こだま学」と位置付けた地域協働など、様々な連携を推進しています。									
進路	R5.3 卒業生	四大	11人	短大	1人	専門	50人	就職	96人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7割の生徒が地元を中心とした企業への就職を、3割の生徒が上級学校への進学を決めています。国家資格等を含む検定取得に力を入れ、100%の進路実現を目指しています。多くの地元企業から求人があり内定率は100%です。大学・短大、専門学校を希望する生徒は全員が合格しています。 （※令和5年4月開校の新校のため、統合前の2校の実績を基に掲載しています。） 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

〈児玉高校・育成方針〉 地域産業を支える人材を育成する高校

農業科

先進的な農業の学びを通し、
地域農業を支える人材を育成

- 新たな時代を見据えた
農業教育の実践



工業科

ものづくりを通じた学びで、
地域産業を支える技能者を育成

- 工業の専門的な知識・技術の
習得を目指す職業教育の実践



普通科 「実学」を重視

農業・工業科目を履修。学ぶ意欲と主体的な
進路意識を育成する「地域創造系」

- すべての生徒が農業科・工業科の学びを
取り入れた実習を実践

体育]-1の学びを継承「スポーツ健康科学系」

- スポーツ栄養やスポーツ健康科学を学び、
アスリートのサポートに繋げる

学 科 を 超 え た 多 様 な 学 び

- 探究活動としての「こだま学」を通じて、地元地域の課題発見・解決を目指す過程で、他者と協働しながら物事を主体的にとらえ自分事として考える力を養う。
 - ・コミュニティースクールとして地域との協働連携を重視
 - ・聴く力、まとめる力、発表・発信する力をつける
 - ・協働の基本となるコミュニケーション能力の育成



- 個々の進路実現に向けて必要な学力の定着
 - ・ICTを活用し、個に応じた学びの質の向上
 - ・積極的な資格取得による進路意識の向上



- 伝統や実績のある部活動の活性化・部活動を通して、地域との交流を図る
(陸上競技部、柔道部、サッカー部、バスケットボール部等)



- まちの創生を担い、未来の地域産業を支え、
学ぶ意欲と社会性を身に付けた心豊かな人材を育てる学校

